

平成25年度病害虫発生予報第4号(7月予報)

＜お知らせ＞カンショにおけるヒルガオハモグリガの被害についてのコラムがあります(15ページ参照)。
イネヨトウの性フェロモントラップへの誘殺数の推移について以下URLに掲載しております。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/documents/h25-ineyo.html>

今月のトピックス

サツマイモノメイガ (カンショ)

学名 : *Omphisa anastomosalis*



成虫



カンショ蔓を食害する幼虫

生態と被害

本種は、カンショの重要な害虫である。世界の熱帯・亜熱帯地域に広く分布し、国内では、トカラ列島以南の南西諸島に分布する。成虫は体長12～15mm、開張28～40mmで体色は暗黄褐色を呈する。幼虫は終齢で体長25～30mmで淡黄色で薄紫色を帯び、頭部は褐色を呈する。

本種はカンショなどのヒルガオ科植物の葉に産卵し、卵は1週間程度でふ化する。ふ化幼虫は植物体に食入し、蔓に移行する。加害を受けた蔓は弱く、折れやすくなり、カンショでは収量の低下をもたらす。また、地上に露出した塊根に産卵することがあり、幼虫が塊根に食入し、内部を食害することがある。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/index.html>